



鹿児島でいう神舞かみまいは神樂のこと。天の岩戸の前で天照大神を慰めるために舞ったといわれ、その起源は神話の代までさかのぼります。

伊佐市菱刈の湯之尾神社に伝わる「湯之尾神舞」は、五穀豊穰、無病息災を祈願して1490年頃から始められたといわれ、豪華な衣装でしめやかに踊る舞、赤い衣装に白塗りの面を着けたユーモアたっぷりな舞など、多彩な舞が伝承されています。次々に披露される見事な演舞は、500年余りの伝統を一途に守り抜いてきた地元の人々の努力の結晶。小・中学生

500年以上にわたり  
継承された多彩な舞。

次代に遺したい伝統文化

# かごしまの祭り

— 第4回 —



【写真左】五穀豊穰、無病息災を祈願して祭りがはじまる。



【写真右】多彩な舞の中のひとつ、「田の神舞」

を含む舞人たちの熱演に、会場からは拍手と掛け声が飛び交います。かつては旧暦霜月の満月の夜に一晚中舞ったといわれ35番の演目がありました。現在では11月23日の豊祭ほせりの日に10数番を披露します。3年ごとの大祭の年は、伝承されている26番、全ての舞が奉納されます。県の無形民俗文化財（指定名称は「菱刈町湯之尾神社の神舞」）に指定されています。

## 伊佐市

### 湯之尾神舞

鹿児島に古くから伝わる地域の祭りや伝統行事。今回は伊佐市菱刈で行われる、「湯之尾神舞」をご紹介します。

【祭りの舞台】

### 湯之尾神社

開催日： 11月23日（大祭は3年ごと）  
次回の大祭は2017年

住所： 伊佐市菱刈川北2461

交通： 栗野 ICから国道268号を車で15分

駐車場： 周辺公共施設の駐車場をご利用ください。

TEL： 0995-23-1311  
(伊佐市教育委員会 社会教育課)

